

市町村名	多良間村
------	------

平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	八重山遠見台展望塔機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)ウ
担当部署名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成27年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
 本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、八重山遠見台展望塔の機能強化を行い、観光客等の利便性の向上及び安全確保を図り、快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	8,000				
	(b) 予算現額	10,399				
	(c) 増減額 (b-a)	2,399	0			
	(d) 繰越額		9,535			
	A. 計 (b+d)	10,399	9,535			
	B. 執行済額	864	9,535			
	うち交付金充当額	691	7,628			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)	8.3%	100.0%			
予算の状況の説明	当初、8,000千円で見積もったが、実施設計の結果により、工事費・施工監理費が不足したので、予算2,399千円の増額を行い、八重山遠見台展望塔の機能強化を実施した。当地区は、自然公園第2種特別地域の区域内となっており、自然公園の許可手続きに時間を要したことから、年度内完了が困難となり繰越となったものの、繰越後は着実に執行を行った。					

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度
		八重山遠見台展望塔の機能強化のための実施設計及び整備の実施	目標 (実施)	()	()	()
	実績	実施				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	八重山遠見台展望塔機能強化のための委託・工事を実施した。					

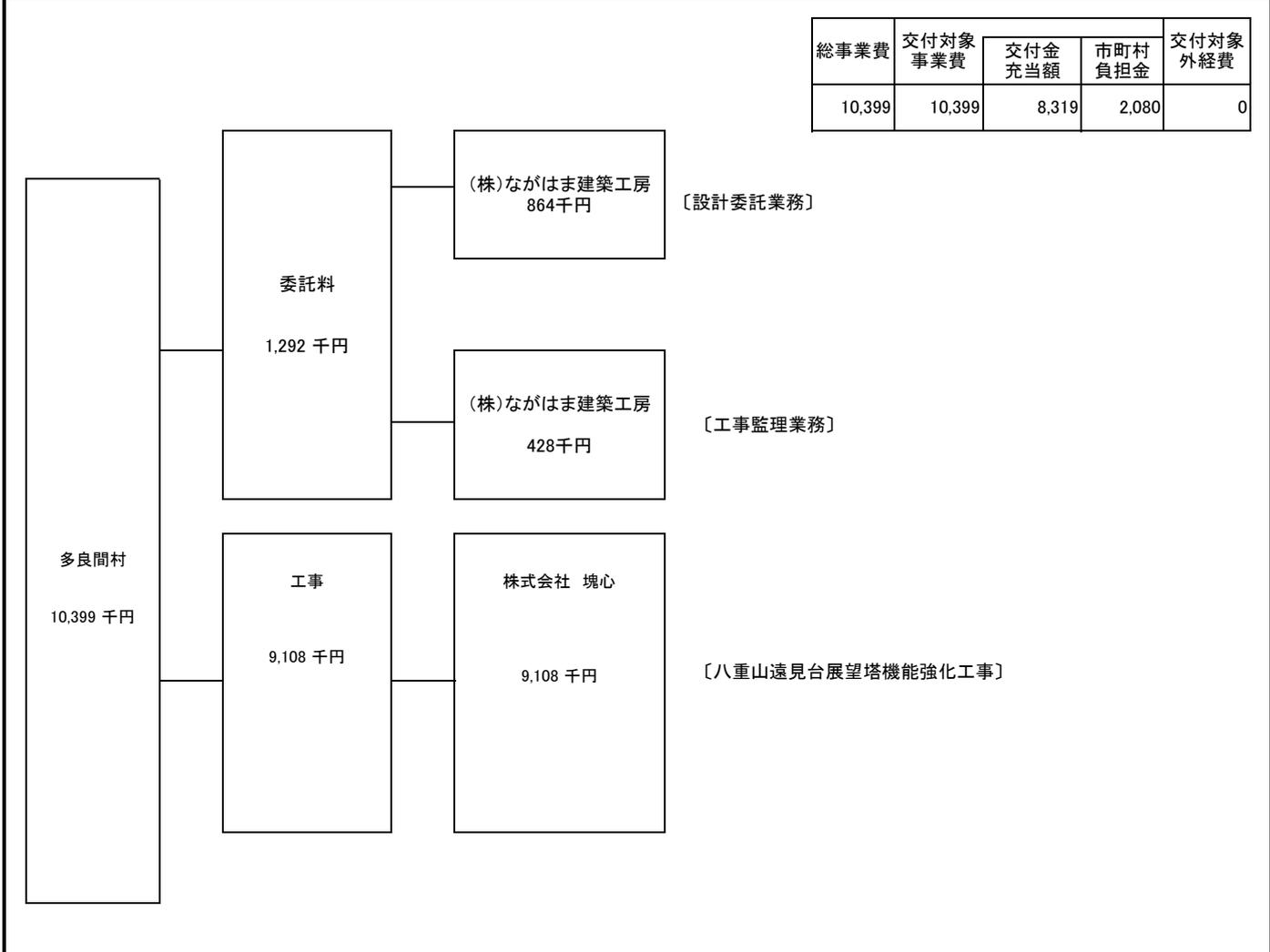
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
		八重山遠見台展望塔の機能強化のための実施設計及び整備の完了	目標 ()	(完了)	()	()	()
			実績	完了			
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	八重山遠見台展望塔機能強化のための委託・工事を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	八重山遠見台展望塔の機能強化を行い、観光客等利用者の利便性の向上及び安全確保を図り、快適な環境づくりによる観光地形成を推進することができる環境が整備された。	八重山遠見台展望塔の機能強化により、観光客等利用者の利便性の向上及び安全確保が図られたので、改善の必要はないものと考えられる。今後は、当該施設の周知を図りつつ、村全体の観光地形成の推進を図っていく必要がある。

今後の取り組み方針

八重山遠見台展望塔の機能強化により、観光客等の利用者の増加につながり、観光産業の振興が図られるよう、観光PRの機会において施設の周知に努めていく。

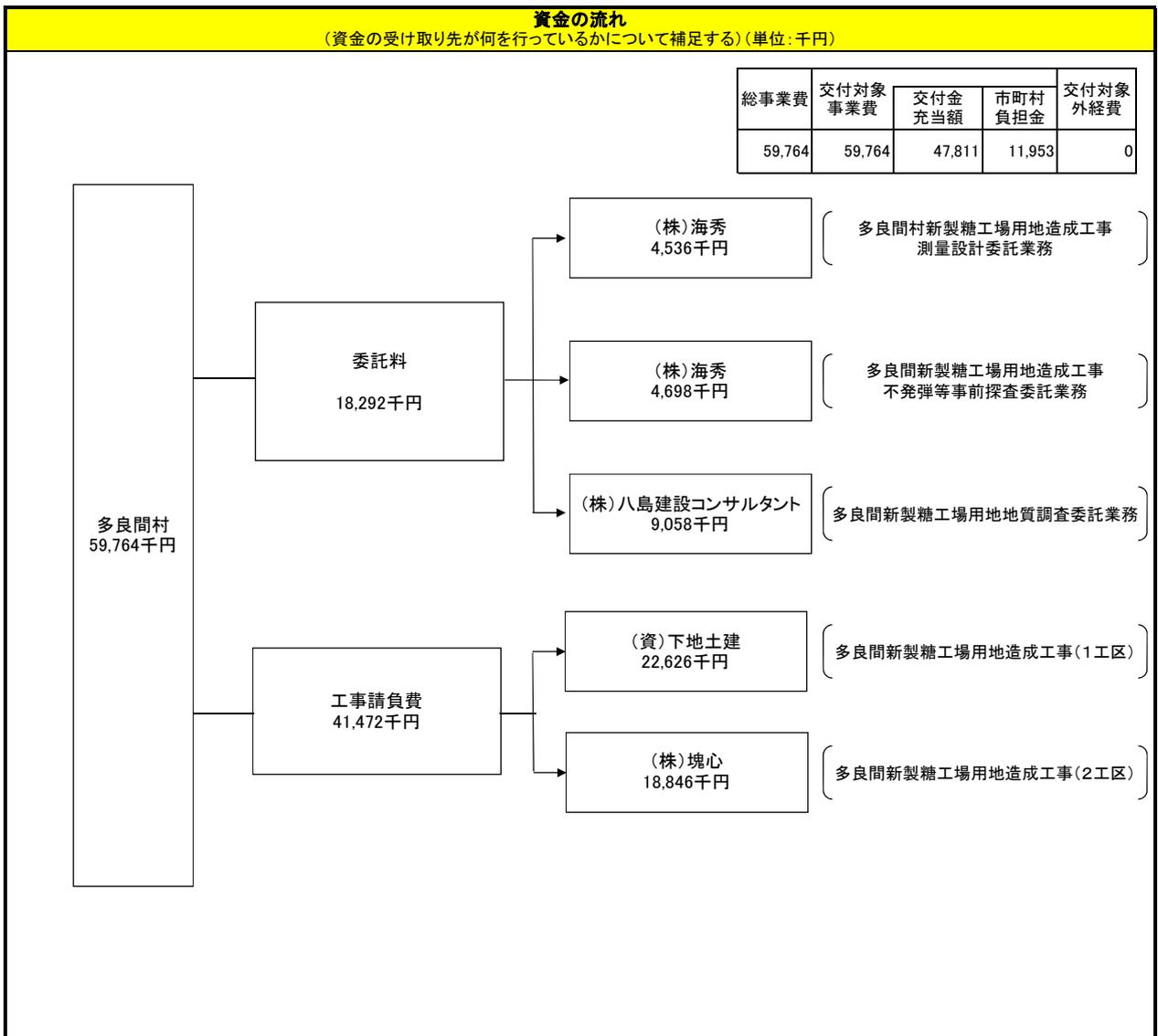
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	実施設計による予算であり、適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者との負担関係は発生しない。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途については、実績報告・検査等において成果品等の確認をしており妥当であったと考える。

市町村名		多良間村					
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	多良間新製糖工場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ-(イ)	
担当部署名	産業経済課	事業実施(予定)年度	H27~H28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-9	
事業内容	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、製糖事業者の製糖コストの軽減、製品の品質向上及び安心・安全な製品の確保を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,204	—			
		(b) 予算現額	65,756	—			
		(c) 増減額(b-a)	53,552	—			
		(d) 繰越額		42,051			
		A. 計(b+d)	65,756	42,051			
	B. 執行済額		23,705	36,059			
	うち交付金充当額		18,964	28,847			
	次年度繰越額		42,051	0			
	執行率(%) (B/A)		36.0%	85.8%			
予算の状況の説明		建設予定地は、多良間県立自然公園第2種特別地域の区域内となっていることから、計画当初から工作物の新築許可の手続きを予定していた。許可申請に必要な自然環境調査を実施したところ国指定天然記念物が生息していることが判明し、造成工事に先立ち保護対策を施すことが必要となった。これらの調整等に不足の日数を要したことから、造成工事に必要な測量設計や不発弾等事前探査に遅れが生じ年度内完了が困難となり繰越となったものの、平成28年5月に完了した。また、入札の実施により当初設計額から5,992千円の執行残が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	不発弾事前探査委託業務、用地造成工事調査測量設計委託業務、用地造成工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	建設予定地において、建築申請に必要な調査を行った際に予定していなかった対策を施すことが必要となり、これらの調整に不測の時間を要したことから、年度内完了が困難になり繰越となったものの、平成28年5月に完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	不発弾事前探査委託業務、用地造成工事調査測量設計委託業務、用地造成工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	造成工事、地質調査委託については平成27年度からの繰越を行い、平成28年5月に完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 既存の含みつつ製糖施設建設から40年経過しており、老朽化による機能低下が懸念されるため、沖縄県含みつつ製糖施設近代化事業にて建屋工事、機械器具設置工事の整備を行う予定であり、当事業にて造成工事、関係委託業務を実施した。 建設予定地は、多良間県立自然公園第2種特別地域の区域内となっていることから、工作物の新築許可の手続きを行う必要があり、許可申請に必要な自然環境調査を実施したところ国指定天然記念物が生息していることが判明し、造成工事に先立ち保護対策を施すことが必要となり、工期設定が短縮し、繰越となった。 平成28年度も継続事業として実施するため、繰越により工程が遅れる可能性がある。 想定外の事態にも対応できるようなスケジュールの設定が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 当初想定できなかった工程について、今後の事業遂行の際には想定される事項として認識する。 早期の発注による工事期間の確保が必要。
今後の取り組み方針		
<p>・早い時期に発注を行い十分な工期の確保を図るとともに、関係工事との密な調整を行い、外構工事設計及び外構工事を実施していく。</p>		



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負、委託事業者は指名競争入札により選定しており、妥当だと考えている。 ○今後は不用額の圧縮が必要である。 ○完了検査等も行っているため妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村
------	------

平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	定住環境促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(イ)			
担当部課名	土木建設課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	急激な人口減少と少子高齢化対策として、多様な担い手・後継者・U・Iターン者等の住まいを確保するための多用途住宅を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		5,668	—			
			109,641	—			
			103,973	—			
				63,861			
			109,641	63,861			
	B. 執行済額		45,780	63,861			
	うち交付金充当額		36,624	51,089			
	次年度繰越額		63,861	0			
	執行率(%) (B/A)		41.8%	100.0%			
予算の状況の説明		当初予算による設計業務が年度途中で完了したことから、建築工事および施工管理委託等の業務を追加したため、103,973千円の増額となった。その後、入札不調により設計の再確認を行う必要が生じたことから、再度の積算に不足の日数を要したため年度内完了が困難となり繰り越しとなったものの、平成28年7月に完了した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	定住環境促進住宅整備	目標	(定住環境促進住宅整備)	()	()	()	()
		実績	定住環境促進住宅整備				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	定住環境促進住宅建設のため、委託・工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	定住環境促進住宅整備の完了	目標	()	(定住環境促進住宅整備の完了)	()	()	()
		実績		定住環境促進住宅整備の完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	定住環境促進住宅建設のため委託・工事を実施し、平成28年7月に完了した。					

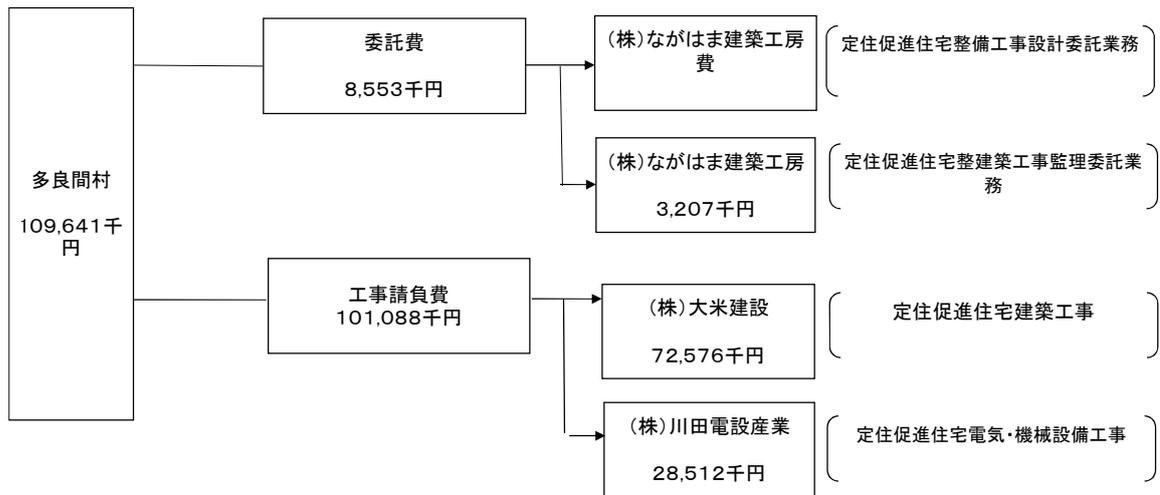
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	入札不調等により工期の遅れが生じたものの、事業を完了できたことにより、急激な人口減少と少子高齢化対策として、多様な担い手・後継者・I・Uターナー等の住まいを確保するため多用途住宅を整備し、定住人口の増加及び地域の活性化を図る事が出来るようになった。	当初計画より工期が大幅に遅れてしまったが、今後、事業実施に際しては事業関係者と調整を行い、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行えるようにする必要がある。

今後の取り組み方針

今後とも、人口減少と少子高齢化対策として多用途住宅整備を推進する際には今回の事例等も踏まえ余裕のある工期の設定に努めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
109,641	109,641	87,713	21,928	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		多良間村					
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	資源循環型農業推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ-(イ)	
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	H27	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	<p>流木、家庭から出る剪定樹木、基盤整備促進事業、防風林施設整備事業等により発生する雑木等を利用して木材破砕機でチップ化し、堆肥の副資材として活用することで資源循環型農業を推進するため、木材破砕機、関連機械を整備する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	87,625	—			
		(b) 予算現額	55,985	—			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 31,640	—			
		(d) 繰越額		44,645			
		A. 計(b+d)	55,985	44,645			
	B. 執行済額		11,340	44,645			
	うち交付金充当額		9,072	35,716			
	次年度繰越額		44,645	0			
	執行率(%) (B/A)		20.3%	100.0%			
予算の状況の説明		<p>入札を行った結果、当初設計額よりも低い事業費で実施が可能となったことから、年度途中で31,640千円を減額した。しかしながら、機械導入にあたり入札の不調が生じたことで、設計の見直しに不測の日数を要したことから年度内の納入が難しくなったため、44,645千円が28年度へ繰り越しとなった。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	木材の堆肥化のための備品購入 ①木材破砕機 ②油圧ショベル ③ホイールローダ ④運搬車	目標	(購入)	()	()	()	
		実績	購入				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	<p>平成27年度にホイールローダ、運搬車(4tダンプ)を納入、平成28年度に油圧ショベル、破砕機を納入し同年5月に事業を完了することができた。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	堆肥施設の機能拡充	目標	()	(堆肥施設の機能拡充)	()	()	()
		実績		堆肥施設の機能拡充			
			目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	<p>平成28年度5月末で機械が納入され6月からは、運び込まれた木材のカット、破砕が行えるようになったことから、堆肥の副資材として使用できるようになり堆肥製造の機能拡充が達成された。</p>					

